

資料提供

島根県政記者会  
広島県政記者クラブ  
合同庁舎記者クラブ  
中国地方建設記者クラブ  
三次記者クラブ

平成25年4月12日

松江自動車道(中国横断自動車道尾道松江線)  
全線開通後の交通量(速報値)

平成25年3月30日(土)に全線開通した松江自動車道について、開通1週間後の交通量をとりましたので、お知らせします。

<概要>

(1)交通量の変化

今回の開通(三次東JCT・IC~吉田掛合IC間)による、松江自動車道と国道54号の断面交通量は下記のとおりです。

【今回開通区間断面(島根・広島県境、広島県三次市三原町)】

・8,800台/日~15,400台/日 最大1.8倍増

【既供用区間断面(島根県雲南市三刀屋町、加茂町)】

・13,100台/日~16,600台/日 最大1.6倍増

(2)今回開通区間の交通量

今回開通した三次東JCT・IC~吉田掛合IC間の交通量は、下記のとおりです。

・平日:6,600~7,600台/日(平成25年4月3日(水))

・休日:8,400~10,200台/日(平成25年4月7日(日))

(3)松江自動車道・国道54号沿線での地域活性化の取り組みについて

尾道松江線沿線の自治体、国道54号沿線の自治体と協働しながら、地域活性化に向けた取り組みを行っています。

今後も引き続き調査を行い、効果を検証していきます。

次回は、GW期間中の交通量の公表を予定しています。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

副所長(道路担当)

新宅 清人(しんたく きよと)

【担当】調査設計課長

景山 浩孝(かげやま ひろたか)

【広報担当】建設専門官

中井 喜美男(なかい きみお)

広島県三次市十日市西6-2-1

TEL:(0824)63-4121(代表)

FAX:(0824)64-2240

国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所

副所長

石川 庄嗣(いしかわ しょうじ)

【担当】計画課長

山本 俊彦(やまもと としひこ)

島根県松江市西津田2-6-28

TEL:(0852)26-2131(代表)

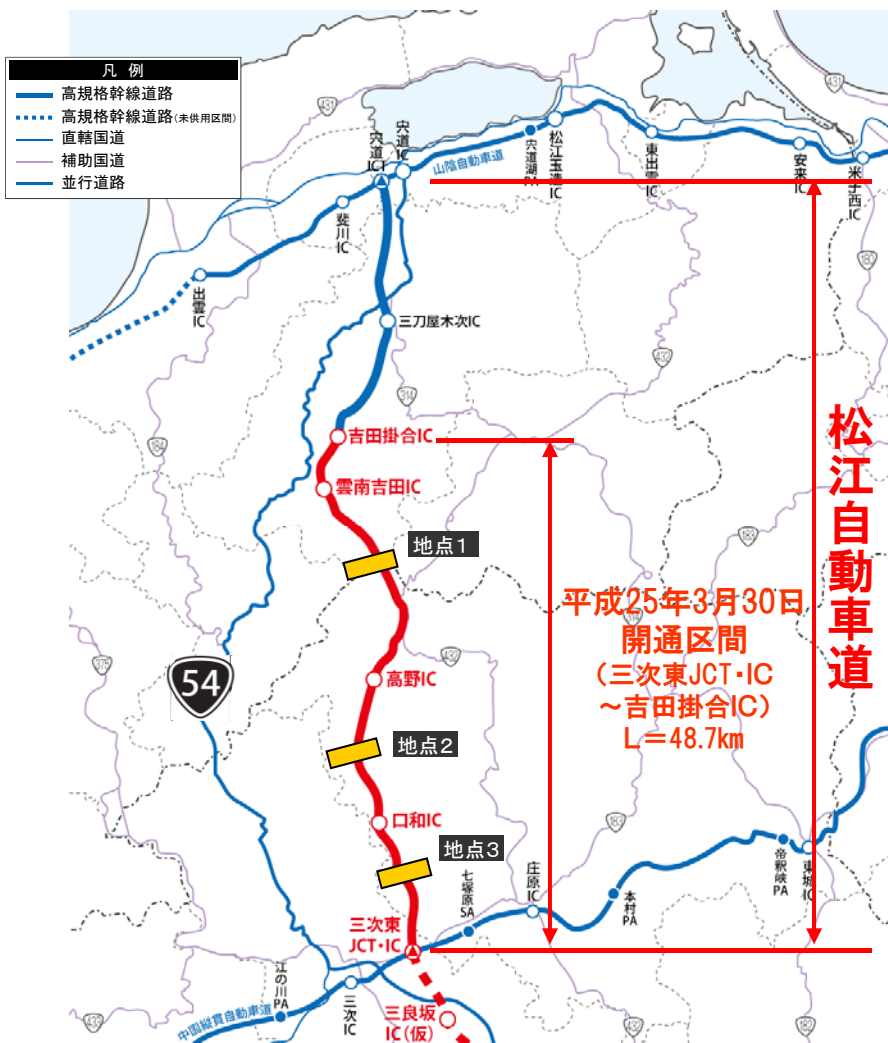
FAX:(0852)25-9438

# 松江自動車道(三次東JCT・IC～吉田掛合IC間)の開通直後の交通状況(速報)

## — 松江自動車道の利用交通量 —

開通直後

・平成25年3月30日(土)に開通しました松江自動車道(三次東JCT・IC～吉田掛合IC間)の利用交通量は、平日6,600～7,600台/日、休日8,400～10,200台/日でした。



松江自動車道(三次東JCT・IC～吉田掛合IC間)  
交通量(速報値)

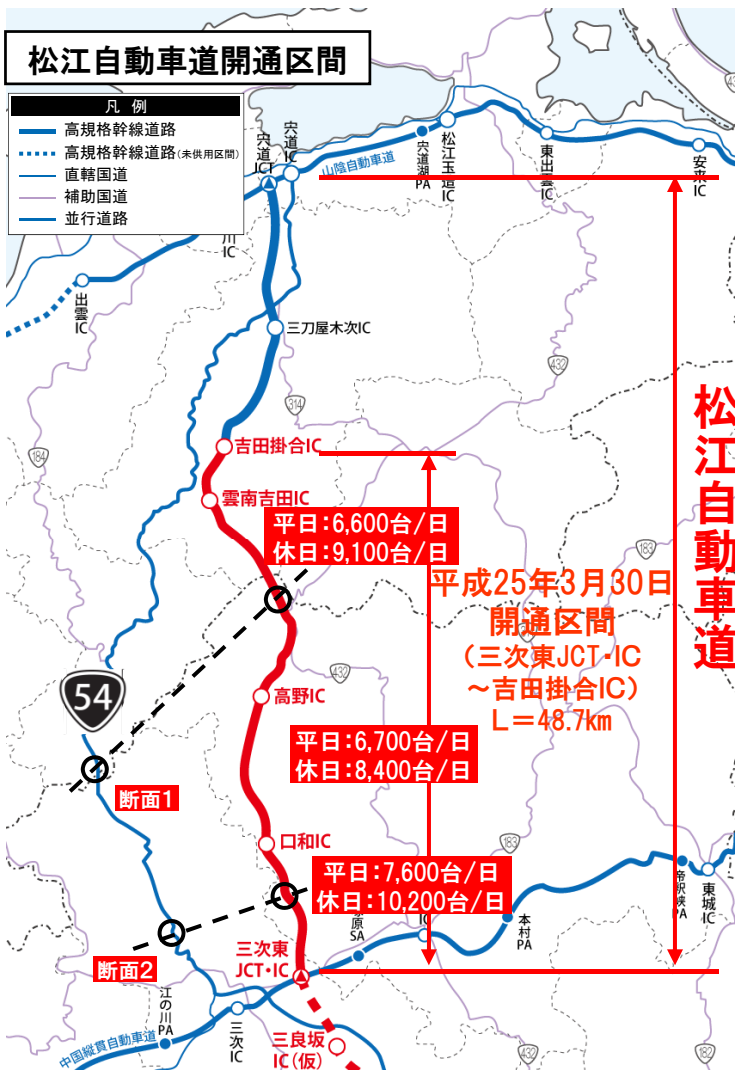
	平日:H25.4.3(水)	休日:H25.4.7(日)
地点1 高野IC～雲南吉田IC	6,600台/日	9,100台/日
地点2 口和IC～高野IC	6,700台/日	8,400台/日
地点3 三次東JCT・IC～口和IC	7,600台/日	10,200台/日

# 松江自動車道(三次東JCT・IC～吉田掛合IC間)の開通直後の交通状況(速報)

## ①交通量の変化(今回開通区間)ー

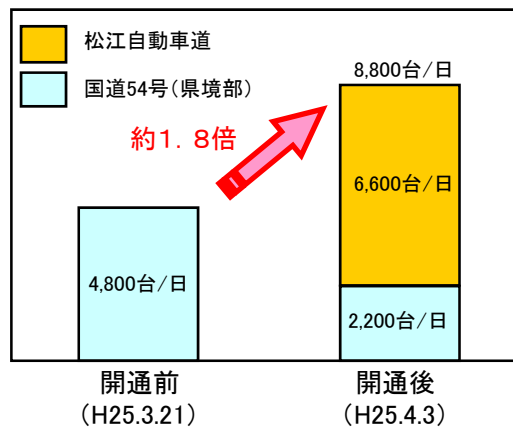
開通直後

- ・松江自動車道(今回開通区間)の利用交通量は平日6,600～7,600台/日、休日8,400～10,200台/日となっています。
- ・今回開通により、松江自動車道と国道54号の断面交通量が最大約1.8倍に増加しています。

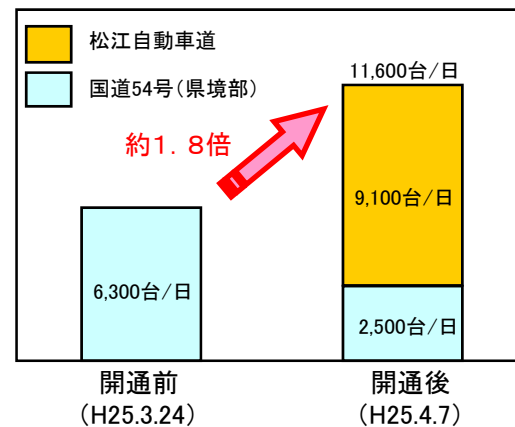


断面1 高野IC～雲南吉田IC(今回開通区間)

平日

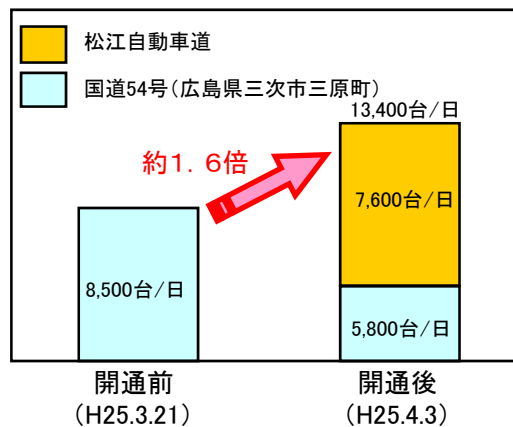


休日

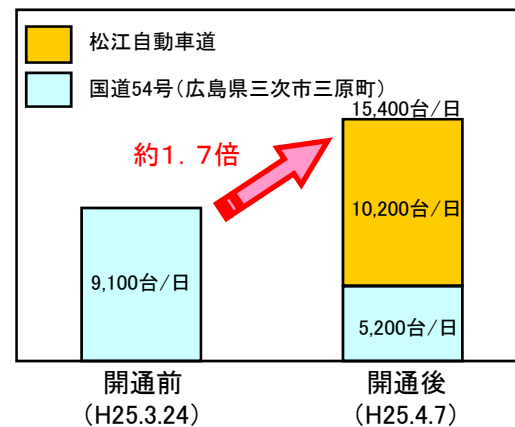


断面2 三次東JCT・IC～口和IC(今回開通区間)

平日



休日

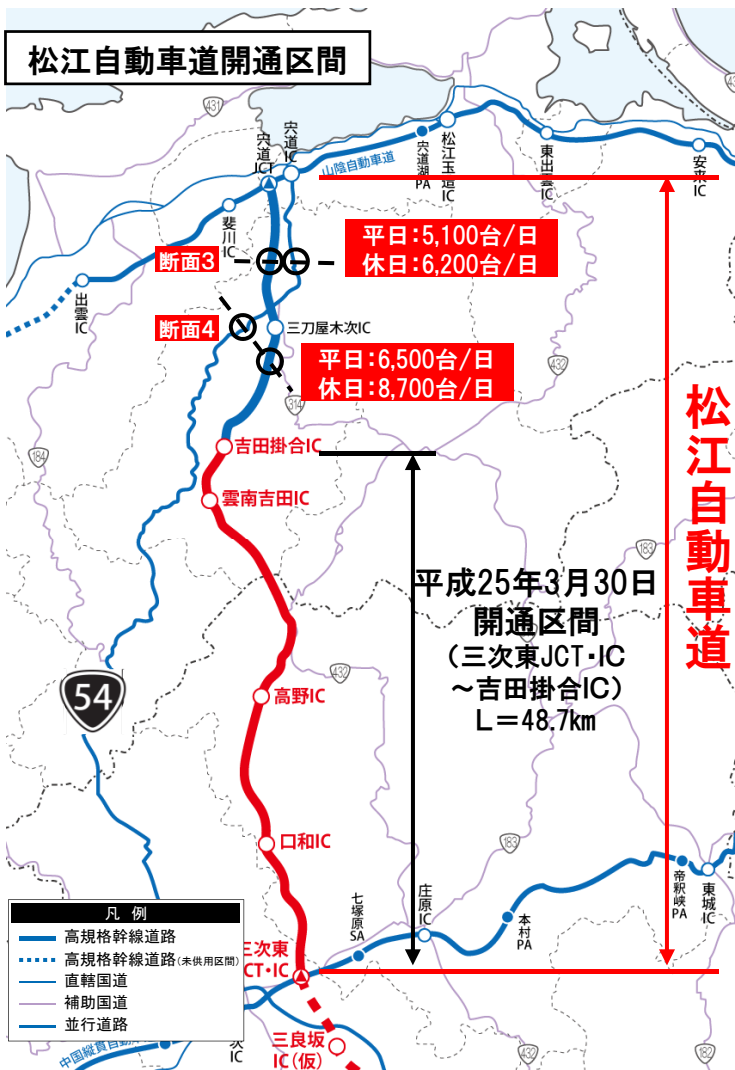


# 松江自動車道(三次東JCT・IC～吉田掛合IC間)の開通直後の交通状況(速報)

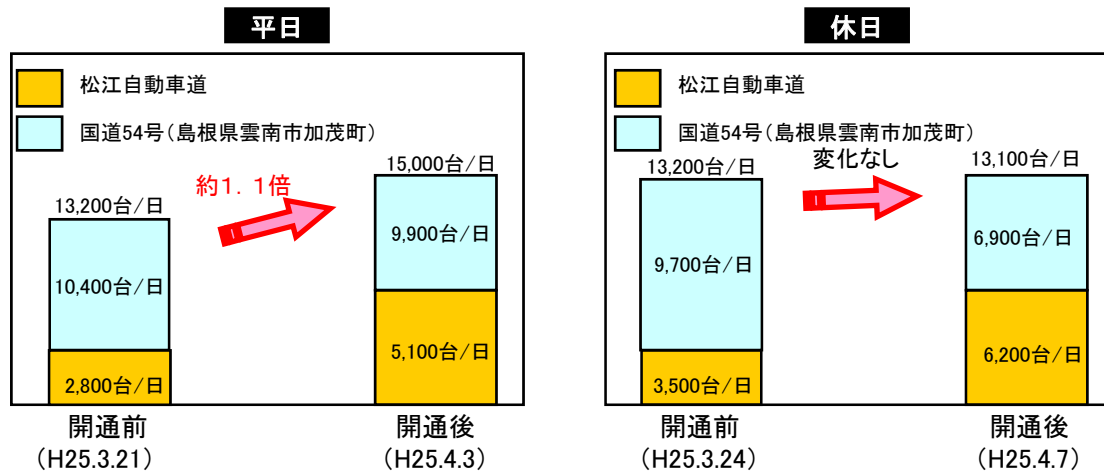
## ②交通量の変化(既開通区間)ー

開通直後

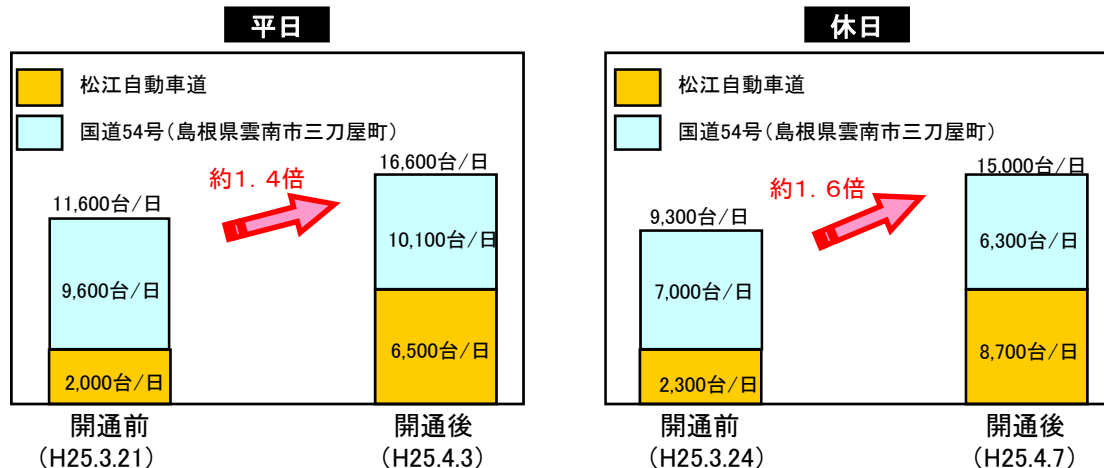
- ・松江自動車道(既開通区間)の利用交通量は平日5,100台/日、休日6,200台/日となっています。
- ・今回開通により、松江自動車道と国道54号の断面交通量が最大約1.6倍に増加しています。



断面3 三刀屋木次IC～宍道JCT(有料区間)



断面4 吉田掛合IC～三刀屋木次IC(平成24年3月開通区間)



※三刀屋木次IC～宍道JCTの交通量はNEXCO西日本より提供

# 尾道松江線・国道54号等沿線地域の活性化への取り組み

➤尾道松江線を活用した地域活性化策の検討とともに、現道の国道54号、国道184号の沿線地域、特に 備北地域、雲南・飯南地域を中心とした中山間地の振興について、関係機関で、互いに連携しながら、情報共有・調整を図り、地域活性化の検討に取り組んでいます。

**検討例:①二輪車(バイク・自転車)の利用促進 ②銀山街道の活用した地域PR ③三次市と飯南町で連携した事業展開の検討 等**

➤今年度も引き続き尾道松江線を活用した地域活性化方策及び中山間地域の振興について、具体的な取り組みにつなげていく仕組みづくりを検討していきます。

## ①-1道の駅での新たな試み(自動二輪車専用駐車場の整備:H24年~)

○島根県飯南町の「道の駅赤来高原」では、二輪車のツーリングの利便性向上を狙い、新たに駐輪場整備を試行



店内で周辺情報の収集 平成24年10月



整備後の駐輪場利用状況 平成24年10月

## ①-2サイクリストを地域に呼び込んで活性化(H24年~)

○自転車を活用した地域振興を進めているNPO法人や地元サイクリストの協力を得て、サイクリングコースの設定、聞き取り調査、現地合同点検などを実施

○今後は、国道54号等の試走を予定

- ・国道54号は勾配が緩やかで路面状態も比較的良いのでサイクリングコースに適している。
- ・コースとして活用できれば、**サイクリストから注目**されるだろう。  
(NPO法人サイクリストビュー)
- ・島嶼部より多くのコースの設定が可能
- ・標識、マップなど地域・コースが分かりやすい整備計画が必要  
(三次市地元サイクリスト)



## ②銀山街道を活かした取り組み(H21年~)

○「銀山街道」沿線の夢街道ルネサンスなど民間活動団体が連携して、「銀山街道」を共通のテーマに、街道沿線の魅力をPRするなど広域的な地域づくりを展開。

○行政で組織した「銀山街道沿線市町等連携協議会」(三次市市長会長)と民間活動団体が組織した「銀の道広域連携実行委員会」が連携協力し活動。



銀の道フェスティバル・飛脚プロジェクト

## ③R54号作戦チーム会議(H24年5月~)

三次市と飯南町を中心に国道54号沿線の現状を分析し、売りとなる魅力、集客の切り札となる魅力を束ね、広く県内外に発信し、活力維持のための事業展開を行う骨格づくりを行う

構成

- ・三次市観光交流課
- ・三次市布野支所(事務局)
- ・飯南町産業振興課・企画財政課
- ・道の駅「布野」道の駅「赤来高原」
- ・国土交通省  
(松江国道・三次河川国道)

